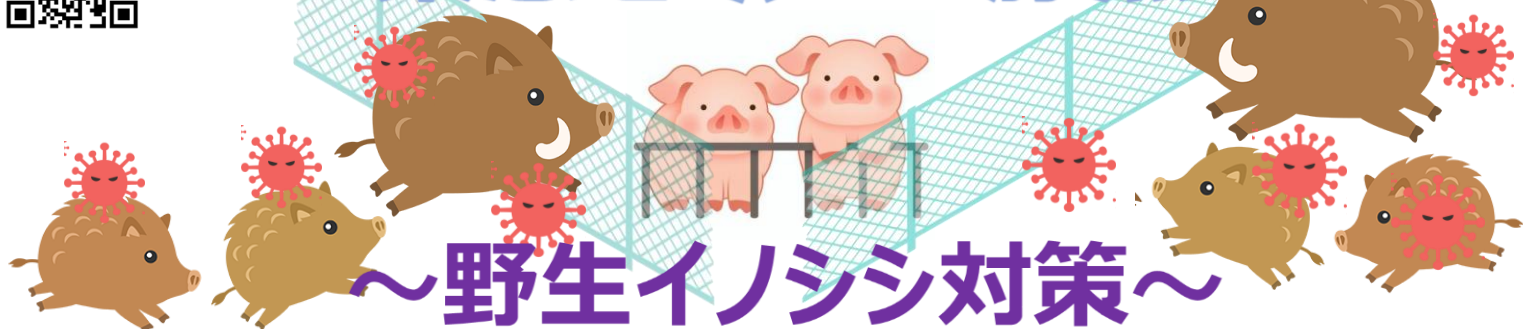




緊急セミナー・豚熱



豚熱ウイルスを保有した野生イノシシはウイルスを持ったまま自然界で長期間生存・移動する“持続的感染源”となります。野生イノシシから飼養豚へ豚熱が感染するリスクは高く、感染拡大の主要因です。そのため、捕獲・監視・ワクチン散布・柵の設置・検査体制強化などの野生イノシシ対策は、豚熱封じ込めの鍵です。一旦、山々に豚熱ウイルスが定着すると豚へのワクチン接種・陽性豚の殺処分だけでは根絶は困難です。ウイルスが山中に定着する前に野生イノシシ対策を強化し、飼養豚での豚熱発生を防止しましょう。本セミナーでは、その対策を学びます。

日時 2025年**9月5日(金)** **15:00~17:00**

参加費無料

※施設内にドミトリがあります。宿泊希望の方はご相談ください。 <https://sklv-soo.jp/about/stay/>

タイトル

1. 管内における野生イノシシの豚熱経口ワクチン摂取状況調査

(2024年度家畜衛生学雑誌優秀論文賞受賞)

橋田 菜々子 先生(高知県西部家畜保健衛生所)

2. 宮崎県の野生イノシシ豚熱対策

片山 貴志 先生(宮崎県畜産局家畜防疫対策課)

・コメンテーター

伊藤 聡 特任講師(鹿児島大学共同獣医学部附属SKLVセンター)

■ 場所 南九州畜産獣医学拠点(SKLV) (鹿児島県曽於市財部町南俣1343)

■ 定員 **90名(対面)**, **300名(web)**、要事前申込、どなたでも

■ 主催 鹿児島大学共同獣医学部附属SKLVセンター

■ 共催 大隅総合開発期成会



お申込→



[9.5 SKLVセミナー\(豚熱\)申込フォーム](#)

お問い合わせ: 鹿児島大学SKLVセンター

TEL : 0986-72-2090(代) E-mail : k2194954@kadai.jp (末吉)

